

授業科目名	【Gカリキュラム】 - 【EFカリキュラム】 実務における情報通信技術Ⅱ	その他参照	開講年次	【G】 - 【EF】 3	単位数	【G】 - 【EF】 2
科目区分	基本科目／【G】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-) / 【EF】教科及び教科の指導法に関する科目 (-・-・-・-)					
担当形態	単独	【G】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目 【EF】教員の免許状取得のための (-・-・-・-) 科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	ICT (情報通信技術) と組織活動		担当者	宝剣 純一郎		
授業概要	<p>【概要】</p> <p>企業などの組織が活動を行う場合、ICT (情報通信技術) の利用は必須です。本科目では、経営管理の視点で組織の目的とそれに伴う活動で、ICT を具体的にどう活用してきたのかあるいは活用していなければならないかを解説し、学生諸君が取り組めるように問題範囲を絞った演習課題を提示します。また、必要に応じて企業などの組織で働く外部講師による職場での ICT 活用の実例を紹介していただきます。</p> <p>【到達目標】</p> <p>ICT が企業などの組織でどのように利用されているのかを知り、3年生から始まる実際の就職活動とも連携できるような知識を修得することが目標です。</p>					
履修条件	「実務における情報通信技術Ⅰ」を履修済みであること					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>矢沢久雄監修「IT パスポート合格講座 改訂第2版」日経BP社 (2016)</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する</p>					
授業回数	授業内容					
1	企業の仕組み		予習：テキスト 22～23 ページ			
			復習：特定の企業を対象にその仕組みを検索			
2	企業の組織構成		予習：テキスト 25～26 ページ			
			復習：特定の企業を対象にその組織構成を検索			
3	企業と従業員		予習：用語「従業員」を検索			
			復習：従業員の具体的仕事内容を検索			
4	業務のモデル化手法		予習：テキスト 64 ページ			
			復習：DFD (データフローダイアグラム) の作成			
5	業務の分析手法		予習：テキスト 212～213 ページ			
			復習：E-R (実体-関連) 図の作成			
6	産業財産権		予習：テキスト 39～40 ページ			
			復習：産業財産権の具体例を検索			
7	著作権		予習：テキスト 38～39 ページ			
			復習：OSS (オープンソースソフトウェア) の具体例を検索			
8	企業の社会的責任 (CSR)		予習：テキスト 22～23 ページ			
			復習：最近話題となった CSR の例を検索			
9	経営戦略とその評価・分析		予習：テキスト 46～48 ページ			
			復習：SWOT や PPM を用いた分析を確認			
10	全社戦略システム		予習：テキスト 54～55 ページ			
			復習：ERP パッケージを検索			
11	部門別戦略システム		予習：テキスト 54～55 ページ			
			復習：MRP、SCM、CRM などのパッケージを検索			
12	ビジネスシステムとエンジニアリングシステム		予習：テキスト 58～59 ページ			
			復習：POS、CAD などの活用例を検索			
13	組込みシステム		予習：テキスト 61～62 ページ			
			復習：組込みシステム内蔵の家電製品を検索			
14	電子商取引 (EC)		予習：テキスト 60～61 ページ			
			復習：私たちに身近な EC の具体例を検索			
15	クラウドコンピューティングサービス		予習：テキスト 67～68 ページ			
			復習：クラウドコンピューティングのサービス例を検索			
評価方法	毎回授業の最後に行う確認テスト (60%)、授業中に課した課題 (20%)、授業への参加態度 (20%) で評価します。					
評価基準	上記授業内容について、よく理解し、適切に課題などを完成させた者にはその程度に応じて「S」または「A」、理解してはいるが、一部理解に不十分な箇所がある者については、その程度に応じて「B」または「C」とします。授業内容の理解自体が不十分な者については、その程度に応じて「D」または「E」とします。なお、確認テスト未提出など、評価不能の場合には「F」とする。					
その他	※G 別：法【-】 法【-】 情【-】 / EF 別：法【-】 法【-】 経【選択必修 (α)】					